



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／川橋昭義 幹事／青木 宏 クラブ会報委員長／佐藤吉朗
SAA／伊東義次 副 SAA／坂本千尋

第1567回例会 2020年（令和2年）9月18日（金）
第1568回例会 2020年（令和2年）10月4日（日）地区大会

ロータリーは機会の扉を開く ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

会長挨拶

川橋昭義会長



自作の穴窯製作

前は、趣味の陶芸のお話を
させていただきましたが、今回
も趣味で陶芸をしていたこと
についてお話ししたいと思いま
す。幾度か地元の窯元にお願

して、穴窯で作品を焼いてもらっていましたが、
思い通りの作品を追求したくなり、ついには土地
を借りて、自分で穴窯を制作する事を決めました。
何分、素人が穴窯を製作しますので、とりあえず
各地の色々な穴窯をみて廻りました。

穴窯に関する本を読みあさり、準備と製作の計
画をしました。本来、職人さんが製作すると2～
3カ月ほどで、出来上がるそうです。穴窯の規模
によりますが、制作費は300万～600万ほどかかる
ようです。私は、仕事をしながらの週末の製作で
したので、約3年も掛かりました。ですが、制作
費は40万～60万位で済みました。本格的な穴窯を
めざして、コツコツと制作をしました。浪江RC
の仲間も協力してくれたことは、今でも感謝して
います。そして、出来上がった穴窯を見た時の達
成感は今でも忘れられない思い出です。

9年前の東日本大震災
により、残念ながら手放
しましたが、それまでの
間、幾度ともなくで、灰
釉薬の窯変を楽しむこと
が出来ました。



幹事報告

青木 宏幹事

*第3回クラブ協議会報告

・10月24日に予定しておりました森林（もり）例
会ですが、新型コロナウイルス感染防止のため、
中止にいたしました。そこで、前日23日（金）「長
野西ロータリーの森林（もり）を育む」と題して、
これまでの森林（もり）の経緯や活動取り組み、
現状など報告させて頂きたいと思えます。通常
例会となります。会場が2階の弥生の間とな
りますので、お間違えの無いようお願いします。

10/9 本日のプログラム

ゲスト卓話 伊藤 安芸さん
「認知症対策・財産管理で注目の
家族信託とは？」

例会案内

10月16日 ガバナー補佐事前訪問例会
10月23日 通常例会（弥生の間にて）
「長野西ロータリーの
森林（もり）を育む」
10月24日（土）森林（もり）例会 中止
10月30日 ガバナー公式訪問例会

9/18 (会員41名) 出席27名 出席率71.05%



・川橋昭義さん☆ゲスト卓話 櫛引知弘さん、ありがとうございます。

・青木 宏さん☆ようこそ、櫛引さん。今日は楽しみにして来ました。山国長野・山なし

に語れませんね。

- ・佐藤吉朗さん☆櫛引さん。いつも山の安全を守っていただいてありがとうございます。
- ・村田秀雄さん☆秋の親睦ゴルフと松茸鍋、西沢さんよろしくね。そろそろ、いっぺいやっぺい。
- ・高橋英司さん☆櫛引さん、山岳遭難救助ご苦労様です。

・合計 15,500円

・累計 164,701円

講師紹介

青木 宏幹事



21年前、犀北館で櫛引さんがご結婚されたときに撮影をさせていただいたのが縁で、以来結婚記念日には毎年ご家族で撮影に来ていただいております。長野県は四方を山で囲まれた山岳

県です。遭難や雪崩といったニュースは私たちにも身近に感じられる話題です。今日は警察の中でも特殊な任務の山岳救助隊の活動についてお話をお聞かせいただきます。

ゲスト卓話 櫛引知弘さん
(長野県警察山岳遭難救助隊長)

「山岳救助」



本日は歴史と伝統ある長野西ロータリークラブさんにお招きいただき、このような機会をいただきありがとうございます。

私は警察官になり27年になりますが、そのうちの21年を山岳救助隊で活動しております。

4年前に現場を離れ、県警本部で隊長として指揮を執っておりますが、部下を危険な救助に向かわせるのは荷が重く、現場で救助の活動をしている方が自分に合っていると感じています。長野県

警には警察官が3800名余おりますが、そのうち山岳救助隊は私以下37名で対応しております。県内外から山岳救助隊への入隊希望がありますが、100人に一人という狭き門でもあります。長野県は全国に先駆け、山岳救助に特化した山岳安全対策課が平成27年に設置され、松本・大町・駒ヶ根・茅野・安曇野の5箇所に隊が置かれ365日活動しております。県内は年間300件ほどの遭難が発生しており、昭和29年からの統計を観ますと毎年増加傾向で、平成30年には過去最高の330人の遭難事例がありました。交通事故死亡率が0.7%に対し、山岳遭難は15.8%と死亡率が高い数値となり、非常に危険が伴うことが解ります。山岳救助ではヘリでの救出が欠かせません。県警には「やまびこ1号、2号」の2機が配備されていますが、平成29年の消防防災ヘリの墜落事故を受け、危険が伴うヘリ救助を減らし、なるべく地上救助で行うよう取り組んでいます。都道府県別の遭難者数は人口比率もありますが、東京都民に次いで2番目に多く、身近に山がある長野ならではの特徵で、そのうち3分の1が「無事救助」と言われる山菜キノコ採りなどの遭難事故で、道迷い・体力不足・疲労・知識不足などの安全対策不足が要因となり、70才以上の高齢者が多いのも特徴です。現在では救助に向かう我々の装備品も進化し、自動式ザイルウインチやスキー遭難・雪崩遭難で威力を発揮するビーコンなどの機材が搜索の助けになっていますが、山岳遭難の場合は滑落など、登りより下り、行きより帰りの事故が多く、山小屋での安全講習や登山用品店のスタッフ向けの講習会や企業と連携した山岳安全対策や安全指導といった活動、さらにSNSなどを使った情報発信で、遭難の抑制に努めています。

皆さんも山を甘く見ることなく、十分な安全対策をして山を楽しんで欲しいです。



※謝礼は公務ということで辞退され、返納されましたのでニコニコBOXに入れさせていただきました。

第1568回例会 2020～2021年度地区大会

10月4日(日)上田RCホスト 於：サントミュージゼ

10月4日(日)新型コロナウイルス感染に配慮し、「ロータリーを通してあなたの世界を拓けよう」のテーマのもと上田市のサントミュージゼにて、地区大会が開催されました。参加人数の制限があった中、当クラブからは、5名の会員の方に参加頂きました。



消毒



検温



受付





成田ガバナー挨拶



記念講演

写真：佐藤 吉朗クラブ会報委員長
青木 宏 幹事